

多次元ナレッジマネジメントを可能とする 高度ペタバイト XML ストレージの研究開発

— 民間基盤技術研究促進制度平成16年度新規提案 —

受託者	(株)メディアフュージョン
研究開発期間	H16年9月～H18年3月(1年7ヶ月)
研究代表者名	榊原 淳
概要	<p>医療や特許情報など、大容量のデータを扱うXMLデータベースシステムの研究開発である。今まで存在しなかった、XMLデータベースに対するクエリー、ノード操作、更新、トランザクション管理等の操作を可能とする言語を開発し、世界標準化を目指す。また、数テラバイト以上の大きさを持った多数のデータ集合を管理するストレージシステムの研究開発を行い、64ビットUNIXシステム上に実現する。</p> <p>この研究により、将来ペタバイト級に迫ると予想される医療情報や特許情報等の大規模なXMLデータベースの構築が可能となる。</p> <p>【サブテーマ】</p> <p>①新言語体系(XMLに対する統合的問い合わせ操作言語)の研究開発 ②ストレージの動的な拡張技術の研究開発</p>

